



お客さま本位の業務運営に関する取組状況について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、金融庁公表（2017年3月）の「顧客本位の業務運営にかかる原則」に基づき、「お客さまの資産運用及び資産形成をご支援する業務の基本方針」（以下、基本方針という）を策定し、同方針のもと、お客さま本位の資産運用及び資産形成業務に継続的に取り組んでおります。

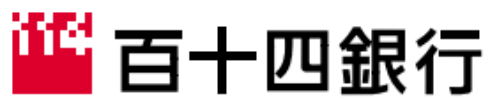
基本方針に基づく2022年度の取組状況を、別紙のとおりとりまとめましたのでお知らせします。

引き続きお客さまの資産運用及び資産形成のご支援に一層つとめてまいります。

以 上

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

2023年6月



百十四銀行は、金融庁公表の「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下、本原則という）に基づき、「お客さまの資産運用及び資産形成をご支援する業務の基本方針」（以下、基本方針という）を制定し、同方針のもと、お客さま本位の資産運用及び資産形成業務に継続的に取り組んでおります。

「基本方針」に基づく 2022 年度の取組状況を、以下のとおりとりまとめましたのでお知らせします。

| 項目 | 金融庁原則 | 掲載ページ |
|---------------------------------------|--------|-------|
| 基本方針 1.お客さま本位の業務運営に係る方針の策定・公表等 | 原則 1 | － |
| 基本方針 2.お客さまの最善の利益の追求 | 原則 2 | 2 |
| (1) 商品ラインナップと販売上位 10 商品 | 参考 | 2 |
| (2) 預り資産残高推移 | 当行 KPI | 3 |
| (3) 積立投資信託口座数 | 当行 KPI | 3 |
| (4) 投資信託販売に占めるコア・バランスファンド比率 | 当行 KPI | 4 |
| (5) 投資信託の商品ラインナップに占める毎月分配型商品数・販売額構成比率 | 当行 KPI | 4 |
| (6) アフターフォロー | 参考 | 4 |
| (7) お客さまアンケート | 参考 | 5 |
| 基本方針 3.利益相反の適切な管理 | 原則 3 | 5 |
| (1) 利益相反管理 | 参考 | 5 |
| (2) 外部評価機関の活用 | 参考 | 6 |
| 基本方針 4.手数料等の明確化 | 原則 4 | 6 |
| (1) 手数料の明確化 | 参考 | 6 |
| 基本方針 5.重要な情報の分かりやすい提供 | 原則 5 | 7 |
| (1) 分かりやすい説明と情報の提供 | 参考 | 7 |
| 基本方針 6.お客さまにふさわしいサービスの提供 | 原則 6 | 8 |
| (1) L P S 活用件数 | 当行 KPI | 8 |
| (2) 類似商品との比較 | 参考 | 8 |
| (3) 情報提供ツールの活用 | 参考 | 9 |
| (4) 重要情報シートの活用 | 参考 | 9 |
| (5) ご高齢のお客さまへの丁寧な対応 | 参考 | 10 |
| (6) お客さまの多様なニーズへの対応 | 参考 | 10 |
| (7) お客さまの利便性向上と多様なチャネルの整備 | 参考 | 10 |
| (8) お客さまセミナー開催状況 | 当行 KPI | 11 |
| (9) ライフプランに関する相談会開催 | 当行 KPI | 11 |
| 基本方針 7.従業員に対する適切な動機づけの枠組み等 | 原則 7 | 12 |
| (1) F P 技能士在籍者数 | 当行 KPI | 12 |
| 比較可能な共通 K P I | － | 13 |
| ① 投資信託の運用収支別顧客比率 | 共通 KPI | 13 |
| ② ファンドラップの運用収支別顧客比率 | 共通 KPI | 13 |
| ③ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン | 共通 KPI | 14 |
| ④ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン | 共通 KPI | 14 |
| ⑤ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン・コスト一覧 | 参考 | 15 |
| ⑥ 外貨建保険の運用収支別顧客比率 | 共通 KPI | 15 |
| ⑦ 外貨建保険の残高上位 20 銘柄のコスト・リターン | 共通 KPI | 15 |
| ⑧ 外貨建保険の残高上位 20 銘柄のコスト・リターン一覧 | 参考 | 16 |

基本方針 2. お客様の最善の利益の追求 【金融庁原則 2】

取組方針（アクションプラン）

- ① お客様に最適な商品・サービスをお選びいただけるよう、幅広く高品質な商品ラインナップの整備に努めるとともに、商品導入・改廃プロセスを明確化します。また、資産形成を始めるお客様に向けて、ご利用いただきやすい商品の充実を図ります。
- ② ゴールベース・アプローチの実践を通じて、お客様のライフプランに応じた安定的な資産形成をご支援します。
【ご提案のポイント】
 - ・コアサテライト戦略によるマーケットの影響を受けにくい資産配分
※コアサテライト戦略とは、運用資金を安定的に運用する「コア」部分と積極的に運用する「サテライト」部分に分けて考えるもの
 - ・「長期・積立・分散投資」に資する積立型商品（積立投資信託、iDeCo等）の活用
- ③ 市場動向にあわせて適時適切なアフターフォローを行うとともに、お客様の投資判断に必要な税制改正などの情報についても迅速・丁寧な対応に努めます。
- ④ アンケートを通じてお客様のご意見を顧客本位の業務運営の更なる改善につなげます。

【取組状況】

(1) 商品ラインナップと販売上位 10 商品

- お客様の多様なニーズやリスク許容度等にお応えできるよう、定期的に商品ラインナップの見直し・整備を図っております。

| 投資信託商品ラインナップ | | |
|---------------|-----|-------|
| カテゴリー | 取扱数 | 比率 |
| バランス | 20 | 27.8% |
| 国内株式 | 9 | 12.5% |
| 国内リート | 2 | 2.8% |
| 海外債券 | 5 | 6.9% |
| 海外株式 | 25 | 34.7% |
| 海外株式（為替ヘッジあり） | 6 | 8.3% |
| 海外リート | 3 | 4.2% |
| その他 | 2 | 2.8% |
| 合計 | 72 | |

※つみたてNISA専用9商品・職場積立NISA専用4商品を含む

| ファンドラップ | | |
|-------------|-----|-------|
| カテゴリー | 取扱数 | 比率 |
| オルタナティブ投資なし | 5 | 50.0% |
| オルタナティブ投資あり | 5 | 50.0% |
| 合計 | 10 | |

※カテゴリー毎に、保守・やや保守・中位・やや積極・積極の5コースあり

| 保険商品ラインナップ | | | |
|------------|---------|------|-------|
| | カテゴリー | 取扱数 | 比率 |
| 一時払 保険 | 個人年金・円貨 | 4 | 8.7% |
| | 個人年金・外貨 | 4 | 8.7% |
| | 終身・円貨 | 4 | 8.7% |
| | 終身・外貨 | 8 | 17.4% |
| | 介護 | 1 | 2.2% |
| 平準払 保険 | 個人年金・円貨 | 1 | 2.2% |
| | 個人年金・外貨 | 3 | 6.5% |
| | 終身・円貨 | 1 | 2.2% |
| | 終身・外貨 | 2 | 4.3% |
| | 定期 | 1 | 2.2% |
| | 収入保障 | 4 | 8.7% |
| | 就業不能 | 1 | 2.2% |
| | 医療 | 7 | 15.2% |
| | がん | 3 | 6.5% |
| | 介護 | 1 | 2.2% |
| 認知症 | 1 | 2.2% | |
| 合計 | | 46 | |

※インターネット専用商品は除く

- お客様の多様なニーズに応じた商品をご提案し、様々なカテゴリーの商品を販売しております。

| 投資信託販売上位 10 商品（店頭扱い） | |
|---------------------------------------|-------|
| 商品名 | 投資対象 |
| 1 のむラップ・ファンド（普通型） | バランス |
| 2 あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2023-01 | バランス |
| 3 のむラップ・ファンド（積極型） | バランス |
| 4 日経225ノーロードオープン | 国内株式 |
| 5 ダイワ・US-REITオープンBコース（為替ヘッジなし） | 海外リート |
| 6 ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型） | 海外株式 |
| 7 財産3分法ファンド | バランス |
| 8 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（ヘッジなし） | 海外株式 |
| 9 グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド | 海外株式 |
| 10 のむラップ・ファンド（保守型） | バランス |

| 投資信託販売上位 10 商品（積立扱い） | |
|--|------|
| 商品名 | 投資対象 |
| 1 つみたて先進国株式 | 海外株式 |
| 2 モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（ヘッジなし） | 海外株式 |
| 3 ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）-ロボテック-（年1回） | 海外株式 |
| 4 グローバルAIファンド | 海外株式 |
| 5 eMAXIS S&P500インデックス | 海外株式 |
| 6 つみたて8資産均等バランス | バランス |
| 7 のむラップ・ファンド（普通型） | バランス |
| 8 eMAXIS 先進国株式インデックス | 海外株式 |
| 9 のむラップ・ファンド（積極型） | バランス |
| 10 ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド | 海外株式 |

一時払保険販売上位 10 商品

| 商品名 | 商品種類 |
|-------------------------|-------|
| 1 しあわせ、ずっと3 (外貨) | 終身・外貨 |
| 2 ロングドリームGOLD3 (外貨) | 終身・外貨 |
| 3 四国の絆3 (外貨) | 終身・外貨 |
| 4 えらべる外貨建一時払終身 (外貨) | 終身・外貨 |
| 5 はじめての介護 (外貨) | 終身・外貨 |
| 6 プレミアカレンシー3 (外貨) | 年金・外貨 |
| 7 やさしさ、つなぐ2 (外貨) | 終身・外貨 |
| 8 悠々時間アドバンス2 plus (外貨) | 年金・外貨 |
| 9 夢のかたちプラス (円貨) | 終身・円貨 |
| 10 悠々時間アドバンス2 plus (円貨) | 年金・円貨 |

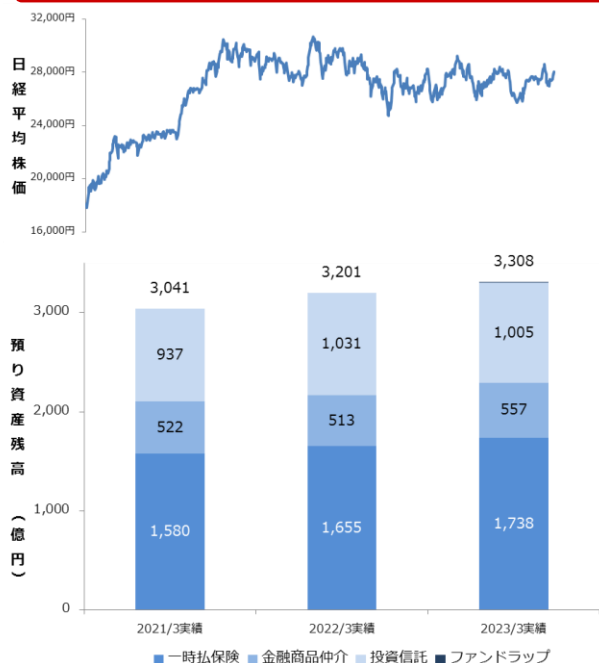
平準払保険販売上位 10 商品

| 商品名 | 商品種類 |
|------------------------|-------|
| 1 つみたてねんきん2 | 年金・外貨 |
| 2 健康をサポートするがん保険 勇気のお守り | がん |
| 3 健康をサポートする医療保険 健康のお守り | 医療 |
| 4 じぶんと家族のお守り | 収入保障 |
| 5 たのしみ未来グローバル | 年金・外貨 |
| 6 My介護Bestプラス | 介護 |
| 7 新医療保険A (エース) プレミア | 医療 |
| 8 メディカルKit R | 医療 |
| 9 あんしん就業不能保障保険 | 就業不能 |
| 10 CURE Next | 医療 |

(2) 預かり資産残高推移

- お客様の資産形成及び資産成長をご支援するため、長期安定運用商品、積立投資信託のご提案に努めるとともに、長寿社会を見据えた取組みを強化しており、預り資産残高は増加しました。

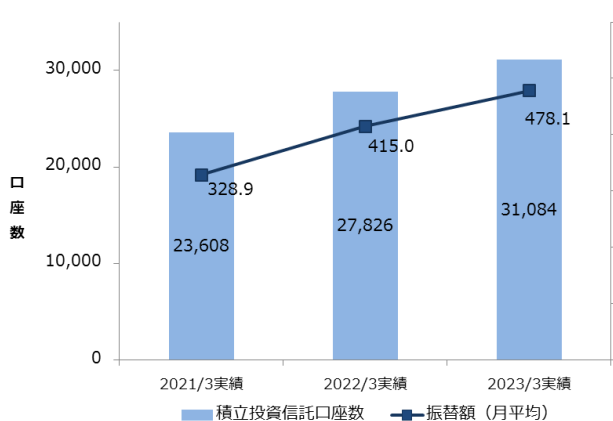
預り資産残高推移 (日経平均株価推移)



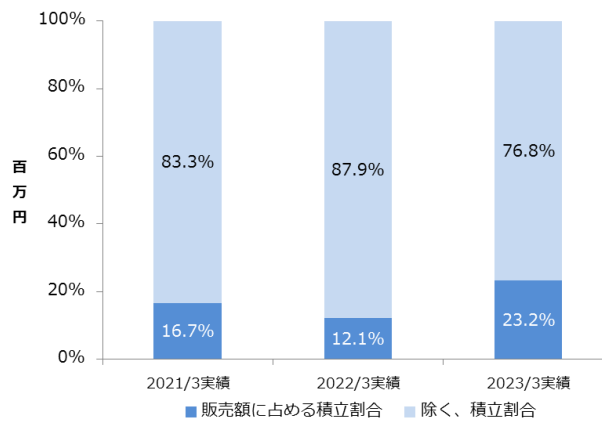
(3) 積立投資信託口座数

- 資産形成を始めるお客様を中心に、積立投資信託取引の提案を行っており、積立投資信託口座数、積立金額ともに増加しました。

積立投資信託口座数・月平均振替額



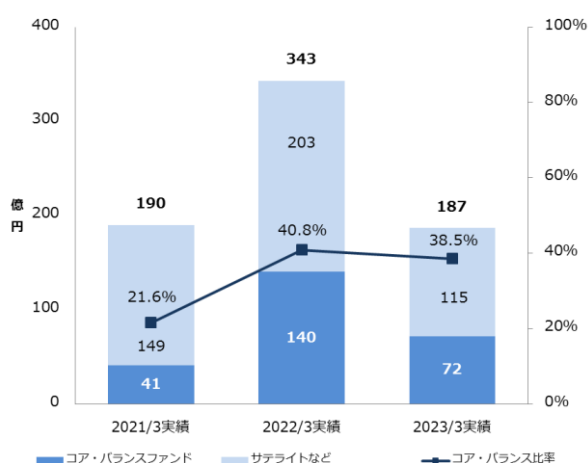
投資信託販売額に占める積立投信販売額比率



(4) 投資信託販売に占めるコア・バランスファンド比率

- 「長期・積立・分散投資」促進による長期でのお客さまの資産形成のご支援に努めておりますが、価格変動が比較的小さくなるよう分散投資されたコア・バランスファンドについて、投資信託販売額に占める販売比率は38.5%となりました。

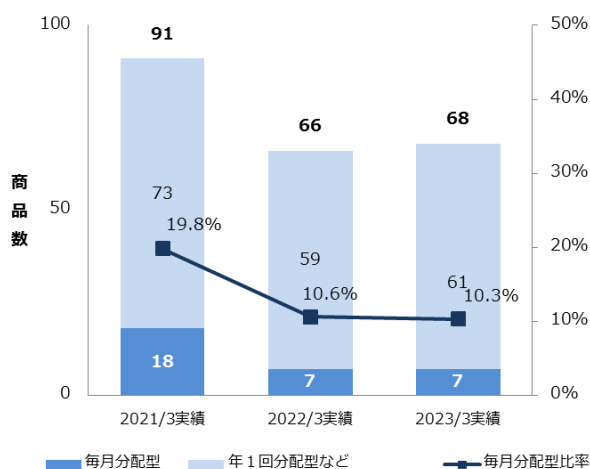
投資信託販売に占めるコア・バランス比率



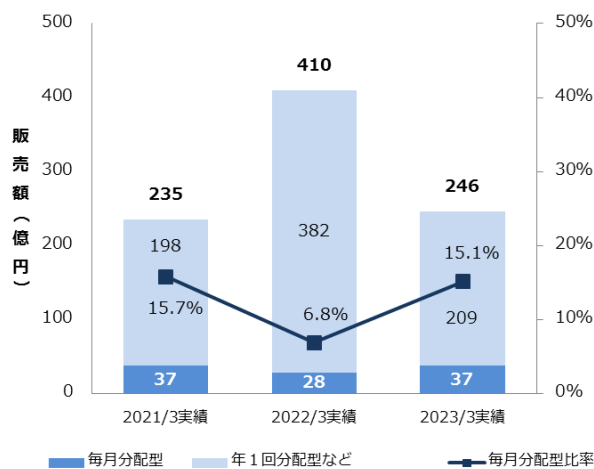
(5) 投資信託の商品ラインナップに占める毎月分配型商品数・販売額構成比率

- 一般的に投資効率が悪く、長期資産形成に向いていないとされる毎月分配型商品数の比率は10.3%となりました。
- 商品のご提案にあたっては、リスクとリターンの関係及び複利効果等の説明を丁寧に行っており、投資信託販売額に占める毎月分配型商品の販売比率は15.1%となりました。

投資信託毎月分配型比率（商品数）



投資信託毎月分配型比率（販売額）



(6) アフターフォロー

- 金融商品を保有するお客さまへのアフターフォローを充実し、市場動向や保有する商品の運用状況等の情報提供に努めております。
- お客さまが金融商品を購入以降、経済や金融環境の変化、お客さま自身の投資方針や保障に対するニーズの変化等により、保有資産の見直しが必要になるとの認識のもと、適宜適切にアフターフォローを実施しております。
- 2022年度は定例アフターフォローのほか、臨時アフターフォローを実施しました。

臨時アフターフォロー実績

| | 2021/3実績 | 2022/3実績 | 2023/3実績 |
|--------|----------|----------|----------|
| 金融商品仲介 | 38 | 12 | 2 |
| 投資信託 | 126 | 67 | 77 |
| 合計 | 164 | 79 | 79 |

(7) お客さまアンケート

- お客さま本位の営業体制を整備するため、お客さまアンケートを実施し貴重なご意見を頂戴しました。頂いたご意見につきましては、業務運営の継続的な改善に生かすとともに、教育、研修を通じて役職員への浸透を図ってまいります。

お客さまアンケート

基本方針 3. 利益相反の適切な管理 【金融庁原則 3】

取組方針（アクションプラン）

- ① 当行所定の利益相反管理を行うとともに、その適切性についての継続的な検証を行います。
- ② 金融商品・サービスの提供会社より手数料の支払いを受ける場合は、お客さまの利益が不当に損なわれることがないよう適切な管理体制を整備します。
- ③ 金融商品・サービスの選定は、必要に応じて外部評価機関を活用することで、お客さま本位の商品ラインナップの整備に努めます。

【取組状況】

(1) 利益相反管理

- 利益相反管理方針 (<https://www.114bank.co.jp/policy/profits.html>) に基づき、お客さまの利益が不当に損なわれることがないよう適切に管理しております。

百十四銀行ホームページ

個人情報のお取り扱いについて | プライバシーポリシー | 特定個人情報等の取扱いに関する基本方針 | **利益相反管理方針** | お客さまの資産運用及び資産形成をご支援する業務の基本方針 | 外国為替取引に関する基本方針 | 電子決済等代行業者との連携及び協働について | 休眠預金等活用法に関するお知らせ | 金融犯罪にご注意ください | 反社会的勢力に対する基本方針 | マネー・ローンダリング等防止ポリシー | 金融円滑化に向けた当行の取り組み | ESG融資目標の表明 | 金融商品勧誘方針について | 加盟店情報の共同利用について | ペイオフQ&A | ソーシャルメディア公式アカウント | ホームページのご利用にあたって | サイトマップ |

利益相反管理方針

株式会社百十四銀行（以下「当行」といいます）は、銀行法および金融商品取引法等に基づき、当行と当行のグループ会社（以下「当行等」といいます）とお客さまの間、ならびに当行等のお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引に関し、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反管理方針を策定いたしましたので、ここにその概要を公表いたします。

利益相反管理の対象となる取引とその特定方法

- 「利益相反」とは、当行等が行う取引に伴い、当行等とお客さまの間、ならびに当行等のお客さま相互の間において、当行等が行う業務に係るお客さまの利益が不当に害される状況をいいます。
- 「利益相反管理」とは、利益相反行為を起さないよう、当該業務に関する情報を適正に管理し、かつ、当該業務の実施状況を適切に監視するための態勢の整備、その他必要な措置を講じることを行います。
- 当行は、利益相反管理の対象となる利益相反のおそれのある取引として、以下の（1）（2）に該当するものを管理いたします。
 - (1) お客さまの不利益のもと、当行等が利益を得ている、または得る可能性のある状況が存在すること
 - (2) 前記（1）の状況が、お客さまとの間の、契約上または信義則上の地位に基づく義務に違反すること
- 当行は、営業部門から独立した利益相反管理統括部署を設置し、情報を集約するとともに、利益相反のおそれのある取引の特定を行います。

(2) 外部評価機関の活用

- 投資信託の新商品選定時は、投資信託の調査・分析を専門的に行う外部機関を活用した評価を実施し、お客さま本位の商品ラインナップの充実を図ってまいります。

デューデリジェンス・レポート

株式会社百十四銀行 様中

デューデリジェンスレポート(投資信託用)

| | |
|--------|---|
| 運用会社 | |
| 商品名 | (基準日: 2021年12月末) |
| 販売会社 | 株式会社百十四銀行 |
| チャンネル | |
| 実行開始日 | 2022年1月6日 |
| 目録最終期限 | 2022年2月4日 |
| 商品概要 | 【投資対象・目的】 【仕組み】 【為替対応方針】 【運用委託先等】 |
| 総評 | 以下の指摘事項について確認および留意を行えば、取扱商品として特段の問題はない。 【商品に係わり懸念される事項の有無、および、販売対応の有無】 【指摘事項に関するコメント】 特段の指摘事項はないが、以下の点について留意する必要がある。 ※ファンドのパフォーマンスは類似戦略やシミュレーションデータを継続しており、実際のファンドの運用実績とは異なること。 |

1. 運用会社関連事項
本項目は2021年8月に取得した情報(財務情報は2021年3月期決算)を元に作成。

| | | | | | | |
|----------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 会社名 | | | | | | |
| グループ概要 | | | | | | |
| 経営基盤 | 会計年度 | 2017/3 | 2018/3 | 2019/3 | 2020/3 | 2021/3 |
| | 経業操業(百万円) | | | | | |
| | 純資産(百万円) | | | | | |
| 事業継続の整備体制 | | | | | | |
| 組織管理体制 | コンプライアンス体制 | | | | | |
| | 法令遵守体制 | | | | | |
| | リスク管理体制 | | | | | |
| | パフォーマンス評価体制 | | | | | |
| | 外部委託先の管理 | | | | | |
| 資産運用体制 | | | | | | |
| | 監査体制 | | | | | |
| 情報開示姿勢 | ディスクロージャー資料 | | | | | |
| | 顧客へのサポート体制 | | | | | |
| 監査の可能性(外資系の場合) | | | | | | |
| 総評 | | | | | | |

基本方針 4. 手数料等の明確化 【金融庁原則 4】

取組方針 (アクションプラン)

- ① お客さまにご負担いただく手数料等については、交付目論見書等を用いて分かりやすくご説明します。

【手数料の対価について】

当行が受取る手数料は、取引時や継続的な情報提供等にかかる人件費、システム開発・維持管理等にかかるインフラ整備コスト、各種資料の作成・交付、取引の手続きにかかる事務コスト等を総合的に勘案した対価です。

【取組状況】

(1) 手数料の明確化

- 金融商品・サービスの手数料やその他諸費用につきましては、資産運用ガイドブック&投資信託ラインナップや交付目論見書補完書面等を使用し、類似商品との比較も含めてお客さまに分かりやすく説明しております。

資産運用ガイドブック&投資信託ラインナップ

百十四銀行 資産運用ガイドブック&投資信託ラインナップ

費用について
投資信託は、購入時や保有期間中、または解約時に手数料がかかります。

投資信託にかかる主な費用

| 項目 | お申込手数料 |
|--|-----------------|
| 投資信託を購入する際、銀行へお申込いただく手数料は、購入時の商品価格に上乗せされます。これは、購入時の商品価格に上乗せされる手数料です。手数料の計算方法は、お申込金額×手数料率(%)です。 | お申込金額×0.30%(税込) |
| 購入時 | 1.8% |
| 2% | 1.10% |
| 4% | 0.825% |
| 5% | 0.66% |
| 1% | |
| 1% | |

信託報酬
信託報酬とは、運用会社が信託財産を運用するに当たって発生する信託報酬の費用として、信託財産から差し引かれます。

その他の費用
信託財産の運用に際しては、信託財産の運用に必要となる信託報酬の費用として、信託財産から差し引かれます。

解約時
解約時には、解約手数料がかかります。

申込金額 100万円 あたりの概算費用を表示

該当ファンドの購入額を100万円と仮定した場合、ご指定の購入金額から差し引かれるお申込手数料と1年保有した場合の信託報酬の概算です。

交付目論見書補完書面

投資信託お申込手数料一覧

この書面は、金融商品取引法第37条の3の規定によりお渡しする「契約締結前交付書面」の一部です。お申込の際は、この書面、投資信託お申込手数料一覧および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

| | |
|--------|-----------------|
| ファンド名 | ダイワJPX日経400ファンド |
| 運用会社 | 大和証券投資信託委託 |
| お申込 | 分配金再投資 |
| お申込コース | 1万円以上1円単位 |
| お申込単位 | (積立)1千円以上1千円単位 |

※ お申込金額に応じた手数料率が適用されます。
お申込金額=約定金額(購入口数×基準価額)+10,000円+お申込手数料(税込み)
お申込手数料(税込み)= (お申込金額÷(1+手数料率)) × 手数料率
お申込手数料(税込み)は、実際のご購入に適用される基準価額によって上下します。

投資信託の販売手数料(お申込手数料)に関するご説明

1. 手数料内訳で購入の場合

- 販売手数料計算式
販売手数料(税込み) = (お申込金額 × (1 + 手数料率)) × 手数料率
お申込金額 = 約定金額(購入口数 × 基準価額) + 10,000円
(例) 手数料率: 3.30% (税込み) の投資信託をお申込金額 1,000,000円 で購入する場合
1,000,000円 ÷ (1 + 0.033) × 0.033 = 31,843円 ⇒ **販売手数料(税込み): 31,843円**
※ 販売手数料(税込み)は、実際のご購入に適用される基準価額によって上下します。

| お申込金額 | 0.55% | 1.10% | 1.65% | 2.20% | 2.75% | 3.30% |
|------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 10,000 | 54 | 108 | 162 | 215 | 267 | 319 |
| 100,000 | 546 | 1,088 | 1,623 | 2,152 | 2,676 | 3,194 |
| 1,000,000 | 5,469 | 10,880 | 16,232 | 21,526 | 26,763 | 31,945 |
| 10,000,000 | 54,689 | 108,803 | 162,321 | 215,264 | 267,639 | 319,457 |

2. 手数料外枠で購入の場合

- 販売手数料計算式
販売手数料(税込み) = 約定金額(購入口数 × 基準価額 + 10,000円) × 手数料率
手数料率: 3.30% (税込み) の投資信託をお申込金額 1,000,000円 で購入する場合
1,000,000円 × 0.033 = 33,000円 ⇒ **販売手数料(税込み): 33,000円**
※ 販売手数料(税込み)は、実際のご購入に適用される基準価額によって上下します。
お申込金額: 1,000,000円 + 33,000円 = 1,033,000円

投資信託の販売手数料は購入時に負担いただくものですが、保有期間が長期に及ぶほど、1年あたりの負担率は低下していきます。

例えば、販売手数料が3.30%(税込み)の場合

| 保有期間 | 1年あたりのご負担率(税込み) |
|------|-----------------|
| 1年 | 3.30% |
| 2年 | 1.65% |
| 3年 | 1.10% |
| 4年 | 0.825% |
| 5年 | 0.66% |
| 10年 | 0.33% |

※ 投資信託によっては、販売手数料を減額する、解約時に保有期間に応じた戻金(手数料)をお支払いいただく場合があります。その場合は、後掲の表とは異なります。また、1年あたりの負担率は、保有期間が長くなるほど低下していきます。また、お申込金額が大きいほど、1年あたりの負担率は低下していきます。また、お申込金額が大きいほど、1年あたりの負担率は低下していきます。また、お申込金額が大きいほど、1年あたりの負担率は低下していきます。

基本方針 5.重要な情報の分かりやすい提供 【金融庁原則 5】

取組方針（アクションプラン）

- ① 金融商品・サービスの販売・推奨等にあたっては、交付目論見書等を用いて複雑さに見合った情報提供を分かりやすく行います。
- ② タブレット端末等を活用して同種の商品の内容と比較し、リスクとリターンの関係などを含めてお客さまに分かりやすい説明と情報提供を行います。
- ③ お客さまへの情報提供の際には、情報の重要性に応じて対応するとともに、より重要な情報については特に強調するなどして分かりやすい情報提供に努めます。
- ④ 重要な情報として以下の内容を明示します。
 - ・ 基本的なリターン、値動きの大きさ、変動要因、取引条件
 - ・ 組成会社が想定するお客さま層
 - ・ 選定理由（お客さまのニーズ及び意向を踏まえたものであるとする判断理由）
 - ・ 利益相反の可能性とその具体的内容
 - ・ 複数の商品・機能等をパッケージ化した金融商品・サービスの場合、単体で購入することの可否や組み合わせることによるメリット・デメリットの比較

【取組状況】

(1) 分かりやすい説明と情報の提供

- 金融商品・サービスを販売する際は、交付目論見書やタブレット端末を活用して、お客さまに分かりやすく説明しております。また重要情報シートを用いて、リターンや値動きの大きさ、商品の選定理由等、分かりやすい説明に努めてまいります。

交付目論見書

野村アセットマネジメント

投資信託説明書 (交付目論見書)

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

■ 保守型
安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

■ やや保守型
安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

■ 普通型
信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

■ やや積極型
信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として積極的な運用を行います。

■ 積極型
信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。

ファンドの特色

■ 主要投資対象
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界各国（日本を含む）の不動産投資信託証券（REIT）¹⁾を主要的な主要投資対象²⁾とします。

■ 投資方針
「のむらップ・ファンド」は、リスク水準が異なる「保守型」、「やや保守型」、「普通型」、「やや積極型」、「積極型」の5つのファンドで構成されています。

■ マザーファンドへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界各国（日本を含む）のREITに分散投資を行います。

タブレット端末「QUICK FN プラス」

| チャート | 株式 | 投資信託 |
|--------|---------|----------|
| 基本情報 | パフォーマンス | リスク/リターン |
| 合成チャート | 分配金 | 分配金計算 |

投資信託 パフォーマンス

| ファンド名称 | 基準価額/純資産 | リターン | リスク/リターン |
|-------------------|---|-------------------|------------|
| のむらップ・ファンド (普通型) | 23,020円 (23/04/28) +206円 純資産総額: 2,541.69億円 | 20/05 21/05 22/05 | リスク (標準偏差) |
| ダイワJPX日経40 OFファンド | 16,819円 (23/04/28) +195円 純資産総額: 93.18億円 | 20/05 21/05 22/05 | リスク (標準偏差) |
| ニッセイリターン(毎月分配型) | 10,164円 (23/04/28) +163円 純資産総額: 352.46億円 | 20/05 21/05 22/05 | リスク (標準偏差) |

重要情報シート（金融事業者編）

百十四銀行のご紹介

1. 当行の基本的な情報 (当行にお客さまに金融商品の販売または販売仲介をする場合です)

銀行名: 株式会社百十四銀行
登録番号: 登録金融機関 関東財務局長 (第) 5 号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
当行の概要をまとめたウェブページ: https://www.114bank.co.jp/company/about_114bank/

2. 取扱商品の「当行にお客さまに提供できる金融商品の概要は次のとおりです」

| | | | |
|--------------|-----------------------|--------------|-----------------------|
| 債券 (投資性なし) | <input type="radio"/> | 債券 (投資性あり) | <input type="radio"/> |
| 国内株式 | <input type="radio"/> | 外国株式 | <input type="radio"/> |
| 円建て債券 | <input type="radio"/> | 外貨建て債券 | <input type="radio"/> |
| 特殊な債券 (仕組債等) | <input type="radio"/> | 投資信託 | <input type="radio"/> |
| ライブ口座 | <input type="radio"/> | ETF、ETN | <input type="radio"/> |
| REIT | <input type="radio"/> | その他の上場商品 | <input type="radio"/> |
| 短期 (投資リスクなし) | <input type="radio"/> | 短期 (投資リスクあり) | <input type="radio"/> |

3. 商品ラインアップの考え方 (商品ごとのコンセプトや商品ごとの特徴)

4. 情報・相談窓口

当行の証券営業センター: 097-831-0114
証券・金融商品あせん相談センター: 0120-64-5005
加入協会共通: 全国銀行協会 0570-012109 (03-5252-3772)
金融庁: 03-5286-2648
金融庁 金融サービス利用センター: 0570-016811 (03-5251-6811)

重要情報シート（個別商品編）

野村アセットマネジメント

のむらップ・ファンド (普通型)

重要情報シート (個別商品編) 2022年11月12日

1. 商品の概要 (当行は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています)

組成会社 (運用会社): 野村アセットマネジメント株式会社
販売委託元: 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品の目的・機能: 国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界各国（日本を含む）の不動産投資信託証券（REIT）を主要な投資対象として、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

2. リスクと運用実績 (本商品は、同種の商品に比べて、損失が生じるリスクがあります)

損失が生じうるリスクの概要: 株式の価格変動リスク/債券の価格変動リスク/商品等の価格変動リスク/信用リスク/為替リスク

3. 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します)

購入時・運用時費用: 一律1.10% (スウィッチングの場合: 手数料無料)
解約時発生する費用: 投資期間 1年: 3.5% (税引: 2.3%)。その他の解約・手数料等が適用されたファンドからの戻金には発生しません。

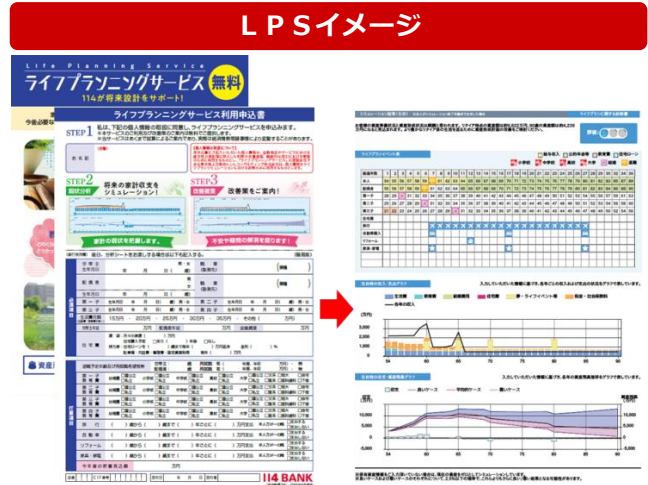
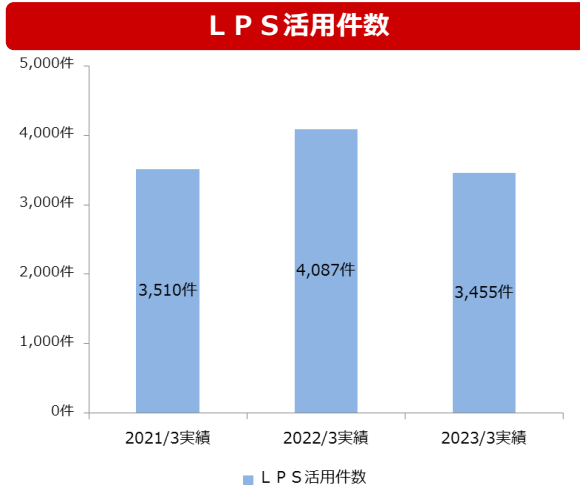
取組方針（アクションプラン）

- ① お客さまの知識・経験・財産の状況や目的に照らし、ライフプラン等を踏まえた目標資産額や適切な投資割合を検討した上で最適な商品・サービスをご提案します。
- ② 商品カテゴリーの枠にとらわれず、類似商品・サービスや代替商品・サービスとの比較を費用面も含めてわかりやすくご説明します。
- ③ ご契約後も継続的なアフターフォローを通して、時間とともに変化するお客さまのご意向にお応えします。
- ④ 複数の商品・機能等をパッケージ化した金融商品・サービスについては、パッケージ全体がお客さまにふさわしいかについて検討し、提供してまいります。
- ⑤ ご高齢のお客さまより金融商品・サービスのご相談をいただいた際は、ご家族にもご理解をいただいた上で、お客さまにふさわしい金融商品・サービスをご提案します。
- ⑥ リスクの高い金融商品・サービスについては、お客さまにふさわしいかを慎重に判断し、ご提案を控えさせていただく場合もございます。
- ⑦ 資産形成や資産運用のほか、住宅・教育資金等のローンのご相談や、医療保険・資産承継・遺言に至るまでのご要望を、幅広く継続的に応えできる態勢整備に努めてまいります。
- ⑧ タブレット端末の活用による申込み手続きのペーパーレス化を進め、お客さまの利便性向上を図ります。また、休日相談拠点の運営やインターネット取引の利便性向上を図ります。
- ⑨ 販売担当者が取り扱う金融商品・サービスの仕組みを理解し、お客さまにわかりやすくご説明できるよう、研修等の充実を図るとともに、お客さまの金融リテラシー向上に資するセミナー、相談会等、情報提供機会の充実に努めます。

【取組状況】

(1) L P S 活用件数

- L P S（ライフプランニングサービス）の活用促進を通じて、お客さまのライフプランを把握し、適切な商品・サービスの提供に努めております。引き続き L P S の活用を推進し、ライフプランコンサルティングの強化を図ってまいります。



(2) 類似商品との比較

- 重要情報シートを活用してお客さまにわかりやすく説明するとともに、外貨建一時払保険を販売する際は、リスク水準が同程度の投資信託商品を提示することで、カテゴリーを越えた商品の提案に努めております。

類似商品の比較イメージ



(3) 情報提供ツールの活用

- 商品・サービスの提案やアフターフォローにおいては、資産運用サポートツール「アセットダイレクション」を活用して、商品のリスク・リターンや資産配分の見直し等、わかりやすい情報の提供に努めております。
- 投資信託を保有いただいているお客さまには、日々の基準価額や目標への到達、決算情報等をLINEでお知らせする「114投信情報LINEサービス」をご案内しております。

アセットダイレクション

現在の資産状況 **黒木 健 様** 作成日 2011/1/7 基準日 2011/1/7

※本資料は簡易版であり、詳細には提供される情報に限りなく異なる場合があります。

ご契約内容

| 商品区分 | 現在保有高 | 割合 |
|--------|--------------|--------|
| 円債 | 40,353,771 円 | 52.6% |
| 外貨債券 | 4,107,094 円 | 5.0% |
| 約束手紙 | 14,746,416 円 | 12.2% |
| 債券 | 4,210,000 円 | 5.5% |
| 累積半年保証 | 6,593,311 円 | 8.6% |
| 定期半年保証 | 4,685,063 円 | 6.1% |
| 合計 | 76,695,654 円 | 100.0% |

資産・通貨・地域配分チャート

| 資産配分 | 割合 |
|--------|-------|
| 円債 | 52.6% |
| 外貨債券 | 5.0% |
| 約束手紙 | 12.2% |
| 債券 | 5.5% |
| 累積半年保証 | 8.6% |
| 定期半年保証 | 6.1% |

114投信情報LINEサービス

よりご利用
いただきやすい
画面にリニューアル
しました

投資信託の基準価額等の情報を
LINEでお知らせします
※百十四銀行が扱う投資信託が対象となります

このように
おすすり

- ✓ 基準価額をホームページや新聞で調べている
- ✓ 目標額の到達を確認できない
- ✓ 下がったと気づかずに損切り
- ✓ 最新のニュースを確認したい

サービス内容

1. 基準価額定期配信サービス
 - 投資信託の最新の基準価額を定期的に配信いたします。
 - 最新のニュースや市場動向に関する情報を配信いたします。
 - 投資信託のリスク・リターンに関する情報を配信いたします。
2. 基準価額到達通知サービス
 - 投資信託の基準価額が指定した水準に到達した場合、お知らせいたします。
 - 指定した水準に到達しない場合は、お知らせいたしません。
3. ニュース通知サービス
 - 投資信託に関する最新のニュースや市場動向に関する情報を配信いたします。
 - 投資信託のリスク・リターンに関する情報を配信いたします。
4. キャンペーン・セミナー情報
 - キャンペーン・セミナー等の情報を配信いたします。
 - キャンペーン・セミナー等の申し込みを促進いたします。

百十四銀行 2021年9月現在

(4) 重要情報シート(個別商品編)の活用

- 重要情報シート(個別商品編)を活用して、商品のリスクやリターン、コストのほか、想定するお客さま層やパッケージの有無等、重要な情報を分かりやすくお伝えし、お客さまのライフプランに応じた適切な提案に努めております。

投資信託

外貨建一時払保険

ファンドラップ

2022年6月版
重要情報シート

販売会社：株式会社百十四銀行

2022年11月1日

重要情報シート (個別商品編)

1. 商品の概要 (当社は、組成会社の委託を受け、お客さまの商品の勧誘を行っています)

組成会社 (組成会社) ビンテージ・グローバル・インカムファンド (1年定期型)

組成会社 (販売会社) ビンテージ・グローバル株式会社

販売会社 百十四銀行

金融商品の目的・機能

商品組成に連関する購入価格

パッケージの有無

2. リスクと運用情報 (※商品は、1日での元本が変動され、損失が生じるリスクがあります)

商品組成に連関する購入価格

パッケージの有無

3. 運用 (※商品の購入又は保有には、費用がかかります)

2022年6月版
重要情報シート

販売会社：株式会社百十四銀行

2022年6月版
重要情報シート

1. 商品の概要 (当社は、組成会社の委託を受け、お客さまの商品の勧誘を行っています)

組成会社 (組成会社) 第一フロンティア生命引受保険株式会社

組成会社 (販売会社) 第一フロンティア生命引受保険株式会社

金融商品の目的・機能

商品組成に連関する購入価格

パッケージの有無

2. リスクと運用情報 (※商品は、1日での元本が変動され、損失が生じるリスクがあります)

商品組成に連関する購入価格

パッケージの有無

2023年2月版
重要情報シート

販売会社：株式会社百十四銀行

2023年2月版
重要情報シート

1. 商品の概要 (株式会社百十四銀行 (以下「百十四銀行」)は、組成会社の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています)

組成会社 (組成会社) ファンドラップ (投資一任契約)

組成会社 (販売会社) 株式会社ケルルス・スカーニア (以下「ケルルス・スカーニア」)

金融商品の目的・機能

商品組成に連関する購入価格

パッケージの有無

(5) ご高齢のお客さまへの丁寧な対応

- ご高齢のお客さまから金融商品・サービスのご相談をいただいた際は、商品内容やリスク等について、十分ご理解を頂いたうえで、安心してお取引いただけるよう、ご家族の同席や複数回の面談をお願いしております。

お客さまへの説明資料

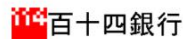
お客さまに安心してお取引いただくためのお願い

弊行では、お客さまのご資産の状況や運用に関するご意向などを踏まえて、お一人おひとりのニーズに適った金融商品を丁寧にわかりやすく説明することに努めております。

特に75歳以上のお客さまへの金融商品のご案内にあたりましては、商品の内容やリスクについて、十分ご理解をいただいたうえで安心してお取引いただけるよう、お子さまにご同席または電話にてご説明させていただいたうえで、お手続きいただくことをお願いしております。

また、ご家族さまとご相談いただく時間や、より慎重に商品をご理解、ご検討いただく時間を確保するために、ご案内する商品によりましてはお申込みいただくまでに複数回の面談をお願いしております。

弊行で安心してお取引いただくため、お客さまやご家族さまにはご負担をおかけいたしません。何とぞご理解賜りますようお願いいたします。



(6) お客さまの多様なニーズへの対応

- 休日を利用してお客さまのライフプランについてご相談いただけるコンサルティングプラザを香川県、岡山県にそれぞれ2か所設置し、また香西支店においても休日相談会を定期開催しております。NISAやiDeCoを活用した資産形成、住宅・教育資金についてのご相談、医療・介護保険等の見直しまで、お客さまのライフプランに係るご相談を幅広くお受けしております。

コンサルティングプラザ

受付内容

- 資産運用の相談・受付
- 住宅資金にかかる住宅ローンのお申込・ご相談
- 住宅ローンのご返済に関するご相談
- 各種ローンのお申込
- 保険コンサルティング など



百十四銀行香西支店

(7) お客さまの利便性向上と多様なチャネルの整備

- 投資信託や保険を販売する際の手続きは、タブレット端末「iTO」を活用することで、お客さまの利便性を高めるとともにペーパーレス化を推進しております。
- 2023年2月にスマートフォンアプリ「114バンキングアプリ」の取扱いを開始しました。当アプリでは残高や明細照会、資金移動が簡単に行えるほか、アプリ独自の便利な機能も備えております。

タブレット端末「iTO」



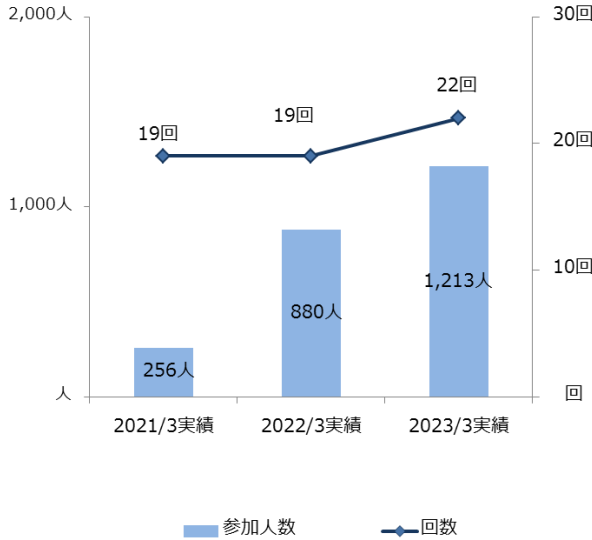
114バンキングアプリ



(8) お客さまセミナー開催状況

- お客さまへの情報提供機会の充実、ご契約後の継続的なアフターフォローを通して、時間とともに変化のお客さまのご意向にお応えするため、お客さまセミナーを開催しました。
- 2022年度はコロナ禍において、お客さまの安全と安心に配慮させていただきました結果、オンライン形式のセミナーを含め、全22回開催し、1,213名のお客さまにご参加いただきました。

お客さまセミナー開催状況



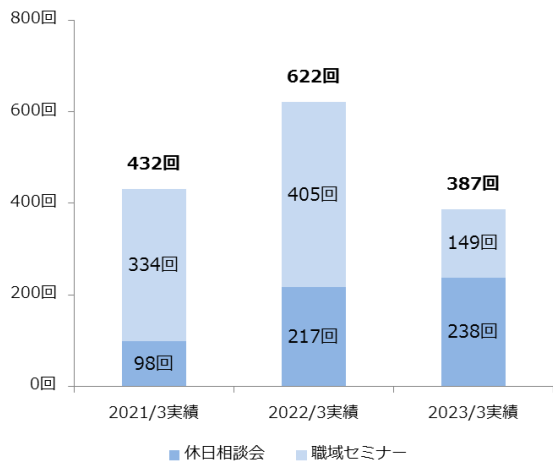
お客さまセミナーチラシ



(9) ライフプランに関する相談会開催

- お客さまからの末永い信頼をいただくため、サービス品質の向上に努めており、2022年度は年間387回の相談会を開催し、資産形成や住宅ローン、セカンドライフに関するご相談を承りました。
- 専用のパンフレットを作成し、相談会等においては、わかり易い情報提供に努めております。

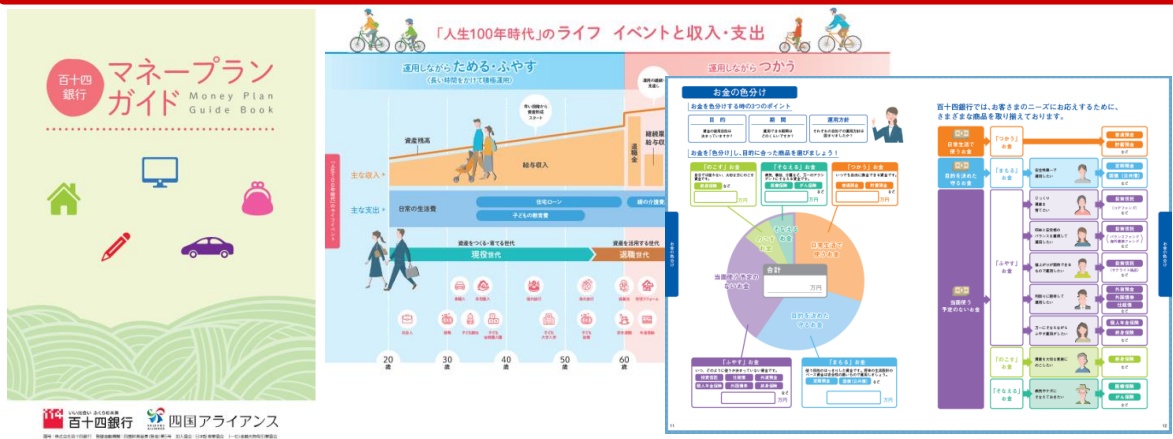
ライフプランに関する相談会開催回数



情報提供資料



マネープランガイド



基本方針 7.従業員に対する適切な動機づけの枠組み等 【金融庁原則 7】

取組方針（アクションプラン）

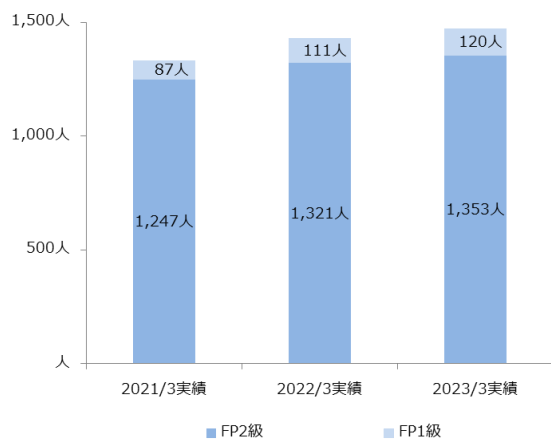
- ① お客さまとのお取引の継続的な拡大や、安定的な資産形成・資産成長に適う取組み等を評価する業績評価体系の構築に取り組めます。
- ② 研修・教育体系の整備とともに、通信講座の受講や F P など外部専門資格の取得を支援することで、自らのスキル向上を目指す役職員の育成に取り組めます。

【取組状況】

(1) F P 技能士在籍者数

- お客さまの最善の利益につながるよう、中長期目線での預り資産残高の増加や積立取引を評価する項目を業績評価体系に取り入れております。
- お客さま本位の姿勢を徹底するとともに、適切な提案のできるプロフェッショナル人材の育成に取り組むため、役職員の自主的な能力向上を支援する研修・教育体系の充実を図り、F P 技能士資格者数の増加に取り組んでおります。
- お客さま本位の業務運営にかかる基本方針、取組方針及び取組状況については、各会議や金融商品の販売員に対する各階層別研修において周知し、浸透を図っております。

F P 技能士在籍者数



会議・研修の開催

- 役員会議
定例：毎年 6 月
臨時：10 回
* 金融商品の取扱いについて等
- 販売員会議
定例：毎月 1 回
* 地区単位（3～5 支店）で開催
- 研修
定例：8 回
* 新入行員、行内資格取得関連

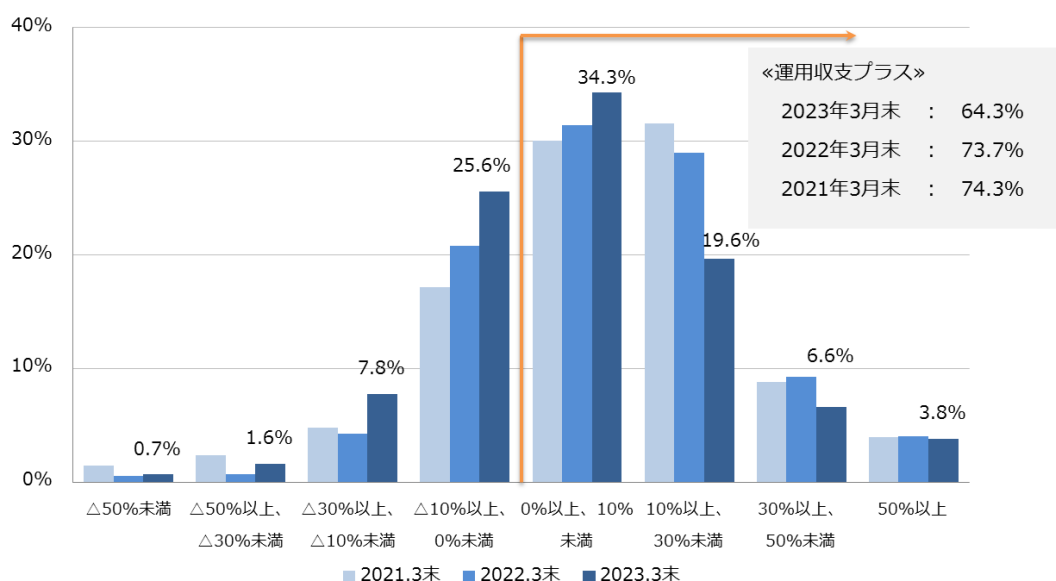
比較可能な共通 K P I

- ① 投資信託の運用収支別顧客比率
- ② ファンドラップの運用収支別顧客比率
- ③ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン
- ④ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン
- ⑤ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン・コスト一覧
- ⑥ 外貨建保険の運用収支別顧客比率
- ⑦ 外貨建保険の残高上位 20 銘柄のコスト・リターン
- ⑧ 外貨建保険の残高上位 20 銘柄のコスト・リターン一覧

① 投資信託の運用収支別顧客比率

- お客さまにご購入いただきました投資信託の運用収支状況について、収支区分毎のお客さまの割合を示しています。2023 年 3 月末時点で 64.3%のお客さまの運用収支がプラスとなりました。

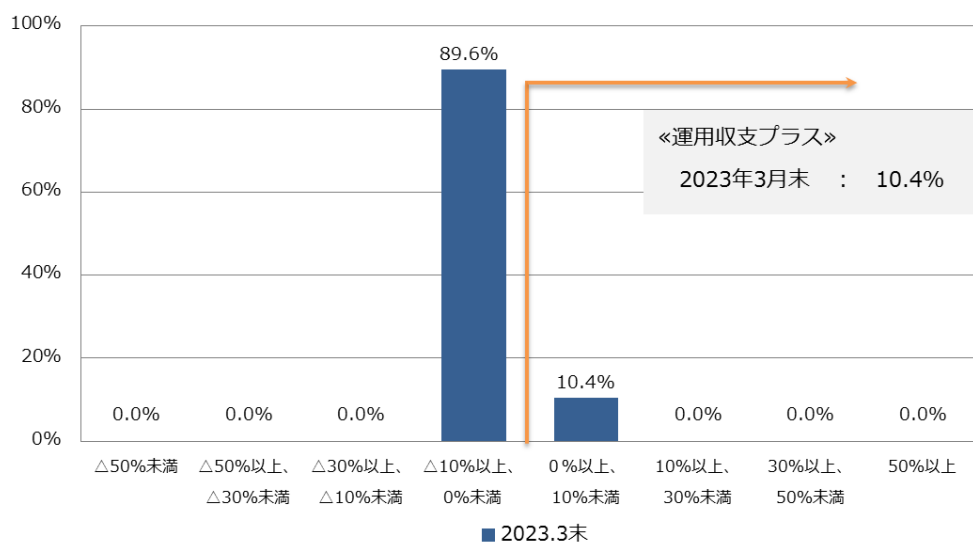
投資信託の運用収支別顧客比率



② ファンドラップの運用収支別顧客比率

- お客さまにご購入いただきましたファンドラップの運用収支状況について、収支区分毎のお客さまの割合を示しています。2023 年 3 月末時点で 10.4%のお客さまの運用収支がプラスとなりました。

ファンドラップの運用収支別顧客比率

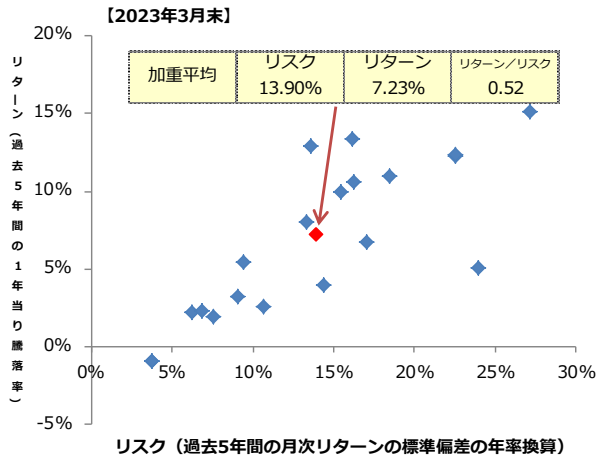


③ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

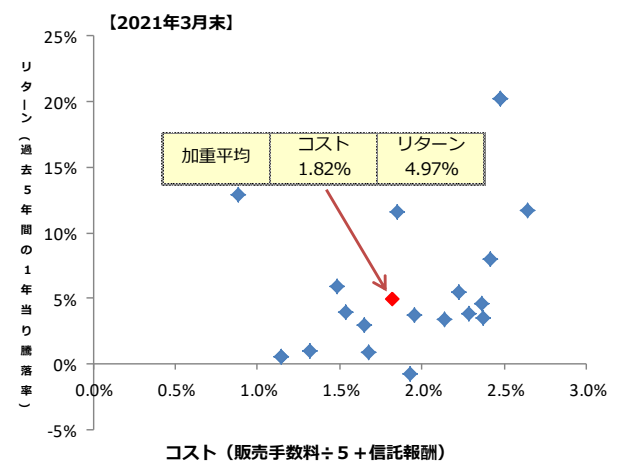
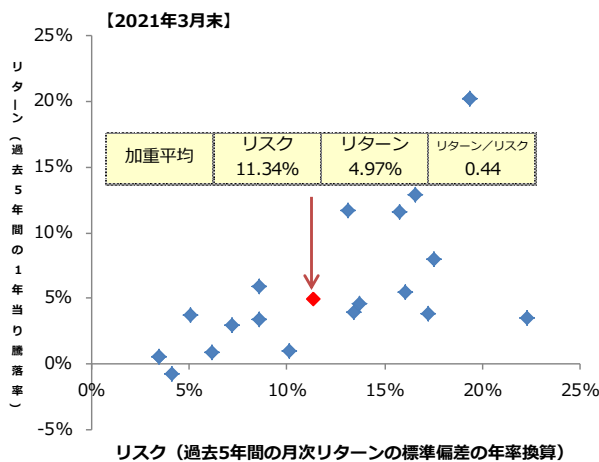
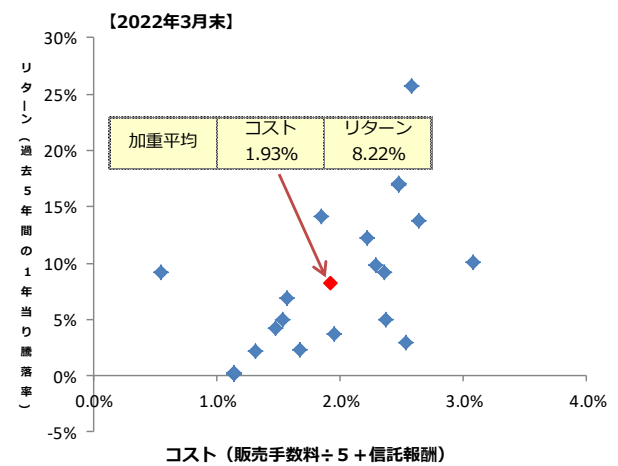
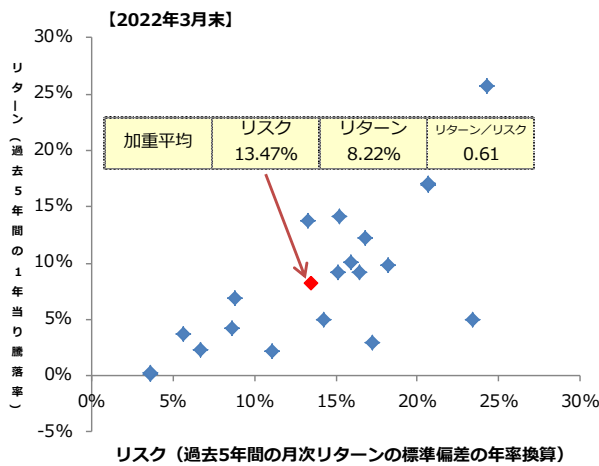
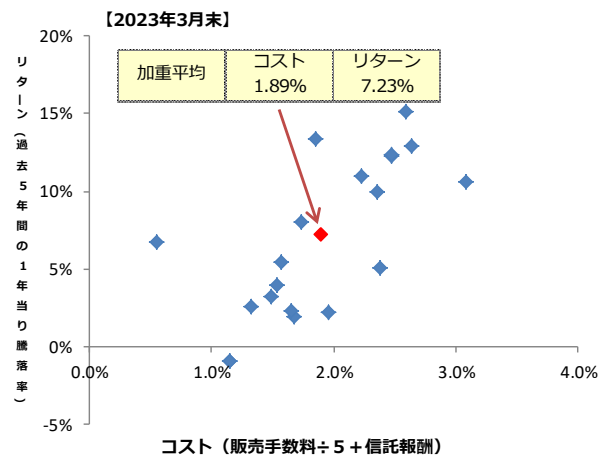
④ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

- お客さまにご購入いただきました投資信託の預り残高上位 20 銘柄について、リスク、リターン、コストを示してします。2023 年 3 月末の平均リスクは 13.90%、平均リターンは 7.23%、平均コストは 1.89%となりました。

預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン



預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン



⑤ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン・コスト一覧 (2023 年 3 月末)

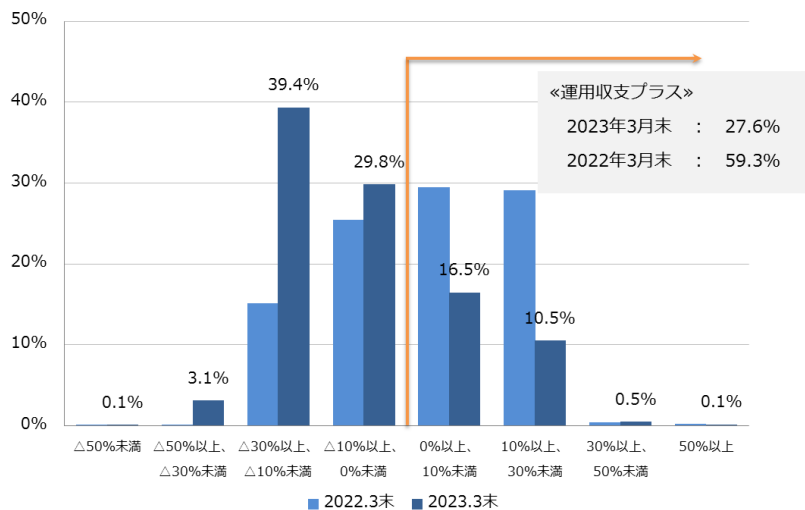
投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン・コストの一覧

| 順位 | 銘柄名 | 残高 (百万円) | リスク | リターン | コスト |
|----|--|----------|--------|--------|-------|
| 1 | のむらっぴ・ファンド (普通型) | 5,081 | 9.46% | 5.40% | 1.57% |
| 2 | ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型) | 4,464 | 15.43% | 9.94% | 2.36% |
| 3 | タイフ・U S - R E I T ・オープン (毎月決算型) Bコース (為替ヘッジなし) | 3,853 | 18.46% | 11.01% | 2.22% |
| 4 | 日経 2 2 5 ノーロードオープン | 3,356 | 17.06% | 6.70% | 0.55% |
| 5 | モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし) | 3,237 | 13.57% | 12.88% | 2.64% |
| 6 | 高金利先進国債券オープン (毎月分配型) | 3,185 | 7.54% | 1.97% | 1.67% |
| 7 | 東京海上・円資産バランスファンド (毎月決算型) | 2,573 | 3.76% | -0.90% | 1.14% |
| 8 | のむらっぴ・ファンド (積極型) | 2,484 | 13.28% | 8.06% | 1.74% |
| 9 | ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) -ロボテック(年1回) - | 2,291 | 22.52% | 12.28% | 2.48% |
| 10 | 財産 3 分法ファンド (不動産・債券・株式) 毎月分配型 | 2,155 | 9.10% | 3.23% | 1.49% |
| 11 | グローバル A I ファンド | 2,131 | 27.13% | 15.09% | 2.59% |
| 12 | グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド | 2,011 | 16.27% | 10.59% | 3.08% |
| 13 | ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック- | 1,891 | 22.50% | 12.32% | 2.48% |
| 14 | ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型) | 1,704 | 23.90% | 5.03% | 2.38% |
| 15 | 東京海上・円資産バランスファンド (年1回決算型) | 1,657 | 3.76% | -0.90% | 1.14% |
| 16 | ピクテ・アセット・アロケーションファンド (毎月分配型) | 1,519 | 6.22% | 2.20% | 1.96% |
| 17 | ニッセイリートオープン (毎月分配型) | 1,439 | 14.35% | 4.01% | 1.54% |
| 18 | 香川県応援ファンド | 1,423 | 6.87% | 2.29% | 1.65% |
| 19 | グローバル好配当株オープン | 1,416 | 16.19% | 13.33% | 1.85% |
| 20 | 短期豪ドル債オープン (毎月分配型) | 1,380 | 10.66% | 2.57% | 1.32% |
| | 預り残高上位20銘柄の加重平均 | 49,250 | 13.90% | 7.23% | 1.89% |

⑥ 外貨建保険の運用収支別顧客比率

- お客さまにご購入いただきました外貨建保険の運用収支状況について、収支区分毎のお客さまの割合を示しています。2023 年 3 月末時点で 27.6%のお客さまの運用収支がプラスとなりました。

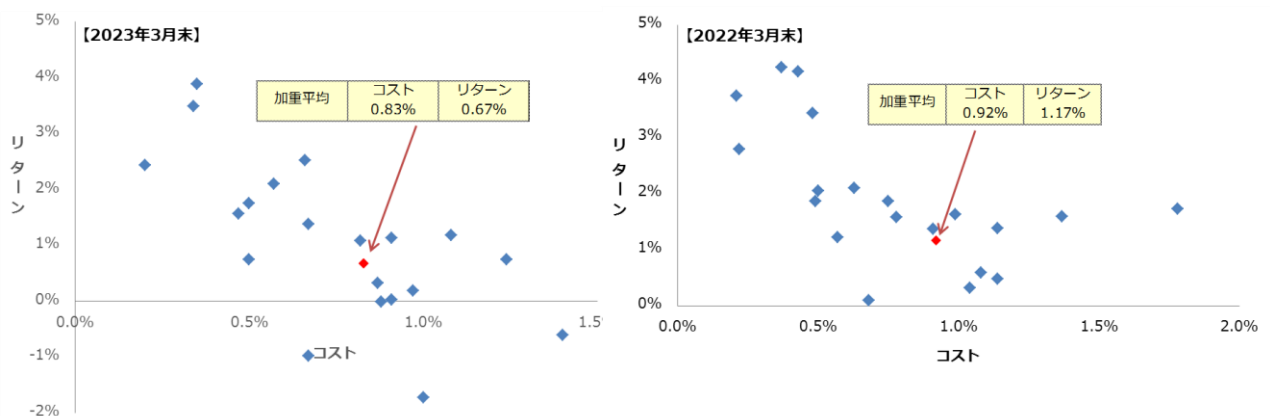
外貨建保険の運用収支別顧客比率



⑦ 外貨建保険の残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

- お客さまにご購入いただきました外貨建保険の残高上位 20 銘柄について、コスト、リターンを示します。2023 年 3 月末の平均コストは 0.83%、平均リターンは 0.67%となりました。

残高上位 20 銘柄のコスト・リターン



⑧ 外貨建保険の残高上位 20 銘柄のコスト・リターン一覧

| 外貨建保険の残高上位 20 銘柄のコスト・リターンの一覧 | | | |
|------------------------------|-----------------------------|-------|--------|
| 順位 | 銘柄名 | コスト | リターン |
| 1 | 四国の絆 (きずな) | 0.91% | 1.13% |
| 2 | やさしさ、つなぐ | 0.67% | -0.98% |
| 3 | しあわせ、ずっと | 0.82% | 1.08% |
| 4 | ロングドリームGOLD | 1.08% | 1.18% |
| 5 | プレミアジャンプ | 0.91% | 0.03% |
| 6 | たのしみ、ずっと | 0.67% | 1.38% |
| 7 | プレミアレシーブ (外貨建) | 0.57% | 2.10% |
| 8 | 三大陸 | 0.47% | 1.57% |
| 9 | デュアルドリーム | 0.88% | -0.01% |
| 10 | プレミアジャンプ・年金 (外貨建) | 0.97% | 0.18% |
| 11 | プレミアジャンプ2・終身 (外貨建) | 1.00% | -1.73% |
| 12 | アテナ | 0.20% | 2.43% |
| 13 | プレミアジャンプ・終身 (外貨建) | 0.87% | 0.32% |
| 14 | プレミアジャンプ3・年金 (外貨建) | 1.40% | -0.61% |
| 15 | プレミアカレンシー・プラス | 0.50% | 1.75% |
| 16 | プレミアジャンプ2・年金 (外貨建) | 1.24% | 0.75% |
| 17 | ロングドリームプラス | 0.66% | 2.52% |
| 18 | ロングドリーム | 0.35% | 3.88% |
| 19 | プレミアカレンシー (米ドル・ユーロ・豪ドル) | 0.34% | 3.49% |
| 20 | 積立利率金利連動型年金 (米ドル建) 年金額確定特約付 | 0.50% | 0.74% |
| | 残高上位20銘柄加重平均 | 0.83% | 0.67% |

以上

【ご参考】

- 当行の「基本方針」と金融庁の「本原則」との対応関係は下表の通りです。

| 基本方針 | 本原則 |
|------------------------|-----|
| 2. お客さまの最善の利益の追求 | 2 |
| 3. 利益相反の適切な管理 | 3 |
| 4. 手数料等の明確化 | 4 |
| 5. 重要な情報の分かりやすい提供 | 5 |
| 6. お客さまにふさわしいサービスの提供 | 6 |
| 7. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等 | 7 |

- 金融庁の「本原則」のうち、当行で取組方針を定めていない項目及び理由は下表の通りです。

| 本原則 | 定めていない理由 |
|---|--|
| <p>原則3 (注)</p> <p>金融事業者は、利益相反の可能性を判断するに当たって、例えば、以下の事情が取引又は業務に及ぼす影響についても考慮すべきである</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売会社が、同一グループに属する別の会社から提供を受けた商品を販売・推奨等する場合 ・ 同一主体又はグループ内に法人営業部門と運用部門を有しており、当該運用部門が、資産の運用先に法人営業部門が取引関係等を有する企業を選ぶ場合 | <p>当行及びグループ各社において利益相反の可能性を有する商品組成・商品運用会社(部門)はありません</p> |
| <p>原則6 (注3)</p> <p>金融商品の組成に携わる金融事業者は、商品の組成に当たり、商品の特性を踏まえて、販売対象として想定する顧客属性を特定・公表するとともに商品の販売に携わる金融事業者においてそれに沿った販売がなされるように留意すべきである</p> | <p>当行は「金融商品の組成に携わる金融事業者」に該当しません</p> |